

大支援研ニュース

特別支援教育

平成20年9月22日発行
 大阪府支援教育研究会
 会長 井崎 敏彦
 (豊中市立第八中学校)

10月号は
 10月中旬
 発行予定

ホームページもご覧ください。<http://fuyouken.visithp.jp/>

ニュースや本会活動への問い合わせ・ご意見は、Mailにて件名に「大支援研問合せ」など「大支援研」を入れてください。

jimukyoku07@fuyouken.visithp.jp

アドレスをテキストで載せるとスパムメールが多数届いてしまうので、画像で張り付けてあります。

お手数ですが、手入力をお願いします。

大阪府支援研役員総会予定 本部・支部役員の方はご予約ください。

第1回平成20年 6月12日(木) 終了

第2回平成20年 9月11日(木) 終了

第3回平成21年 1月15日(木)午後3時～5時 **アウリーナ大阪 信貴の間**

冬季研修会のご案内

平成21年(2009年) 1月6日(火)午後2時～4時(1時30分 受付開始)

八尾市文化会館プリズムホール 研修室・会議室(4階)

☆以下の4つの分科会を実施いたします。

○FBM ○動作法 ○性教育 ○個別の指導計画、個別の教育支援計画

詳細は2次案内(11月号に予定)をお待ちください。

実技研修会(夏の教材製作講習会) 報告 **報告記事添付**

2008年8月11日、たかつガーデン「たかつ」で、実技研修会…夏の教材製作講習会を行いました。今年も「象の会」の内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生に講師をお願いしました。外の猛暑に負けないくらい、参加者全員の熱い思いで会場が熱気いっぱいになった一日でした。午前中は、講師の方たちから、今までに作られた作品の紹介、作り方や実際に使ってみてどうだったか、どのような場面でどのように使うのがよいか、などのお話をうかがいました。わかりやすく楽しいお話でした。午後は、前半、後半、それぞれ3つに分かれて、参加者が実際に教材を作成しました。学校ですぐ使える、教えている子どもたちに最適、などの声が多くありました。また、カンタンさかなつり、ぱたぱた などの絵の美しさ・可愛さにも心うたれました。

詳細記事と参加者の感想、写真は添付の報告記事をご覧ください。

施設見学研修会 報告 **報告記事添付**

2008年8月22日(金) やわらぎ授産所、交野自立センター、交野松下株式会社

本見学研修には、89名もの方の申し込みがあったのですが、見学の都合上、40名に限定せざるを得ませんでした。せっかく、応募していただいたにも関わらず、抽選に漏れてしまった方々には、ご迷惑をおかけしました。当日は、暑い日差しの中、河内磐船の駅から20分かけて、みんなで列をつくり、歩きました。自然に恵まれていて、とても素敵な所でした。3つの見学先がありましたので、それぞれの所の代表の方々から、施設の説明をしていただいた後、見学させていただきました。詳細記事、参加者の感想、写真は添付の報告記事をご覧ください。

支部から

地域性がありますので、詳細記事は添付しておりません。一部のみ紹介しております。

詳細記事－写真付き－はホームページにおきますので、後日ダウンロードしてご覧ください。

中河内支部

中河内支部総会報告 平成20年6月6日(金)八尾市文化会館(プリズムホール)。事業報告、会計報告、会計監査報告が承認されました。また会の名称についての規約改正の提案があり、大阪府養護教育研究会中河内支部は大阪府支援教育研究会中河内支部に変更されることになりました。事業計画案等の審議の後、京都ノートルダム女子大学教授 藤川洋子先生の「発達障がいと少年非行」～学校で求められること～の記念講演がありました。

東大阪市林間学舎 東大阪市支援教育研究会が主催する林間学舎が6月2日から6月18日までの間に、5ブロックに分かれて生駒山麓ふれあいセンターで行われました。今年度は、小中学校を合わせて、52校が参加し、児童生徒数は約240名となり、引率者も合わせると380名以上が1泊2日の校外学習を楽しみました。児童たちは自然の中で散歩したり、ザリガニとりをしたり、アスレチックで遊んだりしていました。館内には温水プールもあり、水中に潜ったり、ビート板を持って泳いだりして、大はしゃぎでした。

他団体記事紹介 (以下は大支援研以外の団体が主催の講演会・研修です。)

本研究会HP等でも紹介していますが、問い合わせ等は当該団体をお願いします。

また、添付の要項があるものは、必ずそれをご覧の上、申し込みまたは問い合わせ下さい。

実践記録論文募集 大阪特別支援教育推進連盟 募集要項添付

障害児(者)の福祉・教育に携わる方々の実践記録論文を募集いたします。

内容 福祉施設・学校等で障害児(者)と共に歩んでいる方々の日ごろの実践のまとめ

A4版で本文を5000字程度(ワープロ可)写真、グラフ、図等の挿入も可(要項をご覧ください)

締切り 平成21年1月16日(金)

提出先 大阪特別支援教育推進連盟事務局 (大阪府立豊中支援学校内)

日本ムーブメント教育 案内と申し込み用紙は別文書で添付

主催 大阪ムーブメント教育研究会 (JAMET 大阪支部)

大阪ムーブメント教育研究会ホームページ <http://homepage2.nifty.com/osaka-movement/>

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。

また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

平成20年10月11日(土) 大阪教育大学天王寺キャンパス 215 講義室

内容 ムーブメント教育・療法のアセスメント ～ MEPA-R 活用の実際 ～

参加費 :500円(当日 徴収いたします) 動きやすい服装でご参加ください。

問い合わせ等 金川朋子(大阪教育大学 附属特別支援学校) 添付案内参照

平成20年(2008年)9月11日

各 学 校 長 様
支援教育関係者 様

大阪府支援教育研究会
会 長 井 崎 敏 彦

冬 季 研 修 会 の ご 案 内 (一次案内)

二学期が始まり、各校で運動会の準備などで、子どもたちの生き活きとした姿が見られる候となりました。先生方におかれましては、ますますご活躍のことと存じます。

さて、大阪府支援教育研究会研修部主催で、以下の要項で冬季研修会を実施いたします。

詳しい内容および申し込み方法については、後日、二次案内でお知らせいたします。
ふるってご参加ください。

記

- (1) 日 時 平成21年(2009年) 1月6日(火)
午後2時～4時(1時30分 受付開始)
- (2) 場 所 八尾市文化会館プリズムホール 研修室・会議室(4階)
〒581-0803 八尾市光町2-40 TEL (072)924-5111
(近鉄大阪線 八尾駅 東300m)
- (3) 内 容 4つの分科会を実施いたします。
 - ◎ F B M
 - ◎ 動作法
 - ◎ 性教育
 - ◎ 個別の指導計画、個別の教育支援計画
- (5) 詳細および申し込み方法
後日、二次案内でお知らせいたします。(11月中旬を予定しています)
大支援研のHPおよびニュースをご参照ください。
<http://www.fuyouken.visithp.jp/>
- (6) 問い合わせ先 大阪府支援教育研究会 書記(研修部担当) 佐藤正幸
摂津市立第四中学校 TEL 06-6349-6181
FAX 06-6349-6184

実技研修会（夏の教材製作講習会） 報告

8月11日、たかつガーデン「たかつ」で、実技研修会…夏の教材製作講習会を行いました。今年も「象の会」の内藤 壽・松永 榮一・朝井 翔二 各先生に講師をお願いしました。外の猛暑に負けないくらい、参加者全員の熱い思いで会場が熱気いっぱいになった一日でした。

午前中は、講師の方たちから、今までに作られた作品の紹介、作り方や実際に使ってみてどうだったか、どのような場面でどのように使うのがよいか、などのお話をうかがいました。わかりやすく楽しいお話でした。

以下、◎は参加された方にアンケートに書いていただいた文からです。

- ◎ ひたすら驚きの連続でした。しかけを教えていただいて、これは作ることができると思うものもあれば、これはできないなあというものもありました。1つ1つの教材には、まず子ども1人1人の実態把握があって作られていくというお話、あたり前のことのようにですが、なかなか意識できていません。とても勉強になりました。
- ◎ お話のはしばしに、目の前の子ども達のニーズに合わせて一、の思いが伝わり、あらためて、そうなんだ、と思いました。
- ◎ いろいろな目を引く教材を紹介していただき楽しんでしまいました。工夫ひとつですごい教育効果を発揮できる教材があると感心しました。
- ◎ 三者三様の切り口で、教材作成の序章を披露してくださり、ちょっとした舞台を観ているようでした。入れ替わりも絶妙に感じました。



午後は、前半、後半、それぞれ3つに分かれて、参加者が実際に教材を作成しました。学校ですぐ使える、教えている子どもたちに最適、などの声が多くありました。また、カンタンさかなつり、ぱたぱた などの絵の美しさ・可愛さにも心うたれました。

- ◎ 完成品を見て、具体的な生徒の顔が浮かんだ。
- ◎ 時間がたつのを忘れて作りました。
- ◎ どれも下準備をしっかりといただいているので、誰でも簡単にできてしまうというのがいいと思います。
- ◎ お絵かきヘルパーは、円形塩ビのサイズの調整で、脳性まひの子でも使いやすくなると思いました。直径が大きくなれば、少々手のつっぱりも大丈夫かと。
- ◎ 声・速さメーターは、すぐに使えて、とても有効な優れた教材だと思った。
- ◎ 数字の歌、扇なかぶ、どちらも絵がかわいいので気に入りました。練習して、子どもたちの前で、やってみようと思いました。



☆ アンケートの中で、多くの方が書かれていたのが、くり上がり計算機 でした。手に入れたい、作ってみたい、来年お願いしたい、という声が多くありました。

全体を通して、象の会の方に感謝でいっぱい、という意見が多くありました。とくに、この日の研修のために多くの時間と手間をかけて、象の会の方が、下ごしらえをしてくださったことには、感謝の思いでいっぱいです。

- ◎ このような研修会を年に何回も実施してほしい。
- ◎ 講師の先生3人とも、私にとって、あこがれの方でした。独創性があり、工夫があり、技術、知識があり、すごいプロだと思いました。
- ◎ 難しい専門用語ばかり口頭で聞かされるのではなく、このようにアイデアを形

にして子どもたちに提供していける研修を希望します。

◎ 100均などで買えるものなどを教材に上手く使えた例があれば知りたい。

今回、各教材30名、合計90名先着順という形で定員設定をしたところ、6月末には、人気の教材が定員に達し、7月初めには受け付けを締め切ることとなりました。第2・第3希望に回っていただいた方、残念ながら参加していただけなかった方が多くおられました。FAXでの申し込みがスムーズにいかなかった例など実務面において検討の必要な点もありました。

来年もぜひ参加したい、来年こそ参加したい、という思いの方が多くおられます。来年に向け、よりよい形での研修会の実施、申し込み受付の形を検討したいと考えています。

同時に、象の会の方たちに教えてもらうだけでなく、このような実践を私たちがどのように広げていくか、より深めた形にしていくか、を考えなければなりません。

今後ぜひ、教材を実際に教育現場で作った実践、子どもたちといっしょに使ってみた実践や授業の報告を聞かせていただきたいな、と思いました。

(文責 大支援研書記 佐藤正幸)

☆「象の会」のホームページ <http://www15.ocn.ne.jp/~zounokai/> もご参照下さい。

☆ 参加者の方へ 教材を実際に教育現場で作った実践、子どもたちといっしょに使ってみた実践や授業の報告 などなど
ぜひ、大支援研にお知らせください。



行事部主催 施設見学研修報告 ～交野松下(株)～

《2008年8月22日実施》

20年度は、「障がい者の就労の実際を見学させていただいたり、取り組みなどの話を聞かせていただくことを通して、障がいのある子どもたちへの教育や支援のあり方について、研鑽を深める。」ことを目的に、交野松下株式会社、交野自立センター、やわらぎ授産所を研修先を選びました。本見学研修には、89名もの方の申し込みがあったのですが、見学の都合上、40名に限定せざるを得ませんでした。せっかく、応募していただいたにも関わらず、抽選に漏れてしまった方々には、ご迷惑をおかけしました。

当日は、暑い日差しの中、河内磐船の駅から20分かけて、みんなで列をつくり、歩きました。自然に恵まれていて、とても素敵な所でした。3つの見学先がありましたので、それぞれの所の代表の方々から、施設の説明をしていただいた後、見学させていただきました。以下、内容をご報告いたします。

〈やわらぎ授産所(交野市知的障がい者通所授産施設)〉

社会福祉法人かたの福祉会が、昭和59年に設立しました。利用者の自立と社会経済活動への参加を促進する観点から、必要な訓練及び職業の提供を行っておられます。現在、41名の方が利用されておられます。

内容 作業支援・・・クリーニング加工・軽作業・農園
就労支援・・・面接・職場実習体験(交野松下)・相談
生活支援・・・健康管理・日常生活支援・余暇活動支援・相談

平成14年より、知的障がい者通所更生施設「てらサポート」

平成15年より、短期入所事業(ショートステイ)等も行っておられます。



やわらぎ授産所の入り口



まず、授産所と自立センターの説明を聴かせていただきました。



授産所でのクリーニング加工の様子

〈交野自立センター〉

大阪府肢体不自由者協会により、「働く意欲や能力を持ちながらも一般の企業に雇用されることの困難な障がい者に、自立と社会経済活動への参加を促進する」目的で平成18年に設置されました。

利用者さんは、若い方が多く、知的障がいの方が8割。就労訓練を交野松下で行っている。

☆就労移行支援事業（定員31名・・・現在50名が登録）

就職を希望する方に対して就職活動を支援

サービスの提供機関は、2年以内。

9:45～3:45に作業（ねじの袋入れ、コードの梱包、名刺づくり、年賀はがきづくりなど）

100枚を900円で請け負っておられます。

お問い合わせ・・・交野自立センター通所部

TEL 072-893-1156

E-mail katanoj4@vega.ocn.ne.jp

☆生活訓練（定員9名）

支援学校卒業者や施設入所者を対象。

社会生活力を養成・・・あいさつ、身だしなみ、家事活動、金銭管理、作業など

1年ほど訓練すると、就労移行支援に進みます。

☆施設入所支援（定員40名・・・現在44名が登録）

就労移行支援の利用者で、単身での生活が困難な方が利用。

8:45～4:30に作業（マイクロカセットテープ、目だし帽づくりなど）



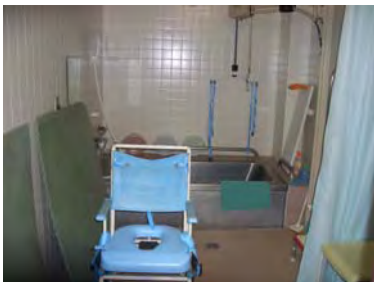
入所施設の部屋の様子です。一つの部屋で二人。カーテンで仕切ります。



カーテンの中の様子です。この横に筆筒もありました。



大浴場です。肢体の人のことも考え、全てバリアフリーです。



小浴場です。シャワーだけの所もありました。



目だし帽づくりの作業場です。手前の機械が布の裁断機です。左のテーブルの上の布が裁断後のものです。



ミシンがたくさん並んでいます。これで、目だし帽を縫っていきます。

〈交野松下株式会社〉

1981年に松下電器産業株式会社の“特例子会社”として第3セクター方式により設立。松下(株)は、全国に4つの特例子会社があります。全ての企業をあわせると現在全国で200程の特例子会社があります。全国で障がい者は約320万人で、そのうち30万~40万人程が企業に勤めています。

交野松下(株)は、重度障がい者多数雇用事業所で、現在30名(肢体24名、聴覚2名、知的4名)の障がいのある方が働いておられます。障がいのある人の福祉増進を目指し、自立と社会参加をより確かなものにするために“心の通う明るい職場”を目指してがんばっておられます。一人ひとりが目標を持ち、それぞれの持てる力を発揮できるようにいろいろな場面での工夫がなされています。

- 事業内容**
- PVPファン加工・・・35%
 - AV10(飛行機のイヤホンの一部)・・・35%
 - AVC アクセサリー検査、梱包・・・20%
 - マイクロカセットテープの製造、販売・・・3%
 - レッツチャット(障害者会話補助装置)、レッツサウンド



レッツチャット
など



工場内の様子。レコーダーのメカニズムの組立作業場です。機械設備の高さや間隔は車いすでも自由に作業ができるようになっています。

マイクロカセットテープです。留守番電話用に昔は日本で多く使われていましたが、今では、輸出がほとんどです。



「体質強化活動」として、それぞれの方が持てる力を発揮できるようにと考えられたグループ分けと目標。壁に大きく貼られています。



パワーポイントを使ってわかりやすく企業説明をして下さいました。

～参加者からの質問～

Q.お給料は？

基本給 平均 月20万 + 役付手当、家族手当、住宅手当など

Q.作業時間は？

7:55 体操、朝会

8:00 スタート

10:00 休憩(10分)

11:00 体操(車椅子でもできるもの)

12:00 昼休憩(45分)

3:00 休憩(10分)

4:15 体操

4:45 連絡、歌

Q.通勤手段は？

自家用車で通勤(車椅子の方は、全員自分で運転)

知的、聴覚の方が電車通勤

Q.知的の方はどんな作業？

材料の供給や準備の作業(最初の段階の作業を工夫)

Q.手が自由に動く方ばかりが働いておられたようですが・・・？

目立たなかったかもしれませんが、実際には、手が思うように動かない方もおられますが、企業なので、採用となるとある程度考えて採用しています。聴覚障がいの方はかなりの方が普通の工場で働いておられるそうです。

Q.どのような力を学校でつけておくと就職の時に役に立つか？

・1日8時間、週5日休まずに耐えられる体力と精神力をつけておいてほしい。

・仲間と過ごせる力

・物づくりに興味を持っている人

(知識、技術は入社してからでもいいので、企業としては、続けてがんばってくれる人を求めておられます。)

～参加者の感想～

- ◎企業が障がい者を雇用することのたいへんさと現実に目の前の生徒たちのこれから先の雇用を考えると、まだまだ多くの問題があると思います。松下さんに感謝しつつ、国がもっと力を出さなければと思いました。
- ◎精神障がいの数もカウントされるようになってきていますが、取り組みはまだまだ始まったばかりのようです。肢体、聴覚の人がたくさん採用されている中、少しずつ知的の人が入る余地もつくられてきている様子がよくわかり、少しほっとしました。
- ◎駅から歩いてくるには遠く、車がないと根性がある所ではありますが、のどかない環境の所だと思えます。就労を目指すのがやっぱり目標だと思えますが、知的の人はやはり難しく、聴覚障がいの人のカウントが多いというのが現実かと思いました。しかし、高校のうちにいろんな企業を探し、こちらサイドで壁を高くするのではなく、体験させてもらえる所を探すことが大事かと感じました。
- ◎企業とタイアップして障がいのある人を受け入れる施設があるのはいいなと思います。ただ、全国レベルで障がい者に対して、そういう施設があまりに少なすぎる。もっと国レベルでしっかり考えなければならぬと思います。

- ◎企業で働くことの厳しさを改めて知ることができました。つつい学校では、子どもが楽しく過ごすことを考え、私たちの指導も甘くなってしまいます。厳しさも持ち合わせた教育にも今後励みたいと思います。知的の方、中心の特例子会社など、また見てみたいと思います。
- ◎企業として障がい者の雇用に尽力されていることがよくわかりました。社会人となるために、まず必要な事は知識や技能よりも人間関係形成能力だということを改めて認識しました。
- ◎支援センターや作業所と、企業である“松下”とのギャップにショックを受けました。自分たちが受け持っている子ども達は作業所レベルの子ども達です。「探せば・・・」とおっしゃっておられましたが、月に1万円程度の収入でどう生活していくのか・・・府の対応などきちんとしたプランがほしいと思いました。
- ◎同じ敷地内に交野松下、自立センター、やわらぎ授産所という施設があるのが、まずよいことだと思いました。松下さんの方は、自立センターで訓練された方を実習生として受け入れるなど連携したり、障がい者雇用の面でも民間企業の方が進んでいるのかなと感じました。石田さんが言われたとおり、小学校の頃から子どもが体力、忍耐力を付け、仲間と協力できるような支援をしていきたいです。
- ◎授産所も自立センターも働いている方々が明るくていい環境にいるのだと思い、うれしくなりました。もっと多くの障がい者の人が働けるよう施設の拡大、または、他に増やしたりできるように行政に働きかけなければいけないですね。松下では、真剣に働いていたので、かなりシビアなのかなと思いました。もっと、規模を大きくして、つくる物も新しく増やしていけたらと思います。

以上、今年度の行事部主催の施設見学研修の報告とさせていただきます。交野松下(株)、やわらぎ授産所、交野自立センターの方々、当日はお忙しい中大支援研施設見学研修のためにお時間をさいいただき、本当に有り難うございました。末尾ながらお礼申し上げます。

大支援研 行事部

平成20年9月17日

関係機関長 様

大阪特別支援教育推進連盟
理事長 南 良知

平成20年度実践記録論文の募集について

日ごろは、大阪の特別支援教育の推進・充実に何かとお力添えをいただき厚くお礼を申し上げます。

さて、本年も標記のとおり障害児（者）の福祉・教育に携わる方々の実践記録論文を下記の要領で募集いたします。

つきましては、関係者へのご周知、ご奨励をよろしくお願い申し上げます。

記

平成20年度実践記録論文募集要領

- 1 内 容 福祉施設・学校等で障害児（者）と共に歩んでいる方々の日ごろの実践のまとめ
- 2 方 法 A4版で本文を5000字程度（ワープロ可）写真、グラフ、図等の挿入も可
具体的な実践論文の書き方については、別記を参照してください
審査の都合上、6部コピーして送付してください
- 3 締 切 平成21年1月16日（金）
- 4 送り先 大阪特別支援教育推進連盟事務局
〒560-0001 豊中市北緑丘2-7-1
大阪府立豊中支援学校内 TEL06-6840-1801
- 5 表 彰 優秀作品には、賞状及び記念品を贈呈します。
- 6 表彰式 平成21年2月25日（水） 15時～16時30分
たかつガーデン（大阪府教育会館）
大阪市天王寺区東高津町7-11 TEL06-6768-3911

実践論文の書き方（例） —— 実践論文の構成と記載概要 ——

- A4版で本文を5000字程度（ワープロ可）
- 写真、グラフ、図等の挿入も可
- 表紙に、題目（テーマ）、所属、氏名（グループ名）を記載

<実践論文の題目（テーマ）>

- ・ 論文の内容が推測できるキーワードも含め、題目を40文字程度で標記する。

<要約>

- ・ 論文の概要が分かるよう500文字程度に簡潔にまとめる。

<目次>

- ・ 大項目、小項目を記し、ページを記す。

<序論>

- ・ この論文を書くに至った経緯、この内容を取り上げるに至った背景・理由を記す。
- ・ 取り上げた対象の実態、取り上げた児童・生徒（障害者）の実態、及び児童・生徒（障害者）を取り巻く状況を記す。

<実践＝取り組み>

- ・ 具体的な実践記録を、大項目、小項目を付して分かりやすく記す。

<結果と考察>

- ・ 実践を通して明らかになったこと、課題、今後どのような点に活かせるか、など実践全般を通しての総括的なまとめを記す。

第19回 大阪ムーブメント教育 研究会のご案内

大阪ムーブメント教育研究会（JAMET 大阪支部）
代 表 金川朋子（大阪教育大学附属特別支援学校）

ムーブメント教育は、1977年に横浜国立大学教授・小林芳文博士によって、初めてわが国に紹介されました。『人間尊重』の教育を基本理念として、子どもの自主性・自発性を重視し、究極的には子どもの『健康と幸福感の達成』をめざしています。この素晴らしいムーブメント教育について、ともに勉強し、日々の教育実践に反映させ、楽しいムーブメント教育を広げていきたいと考え、2005年10月から大阪でも研究会をスタートしました。研究会の活動を通して、ムーブメント教育が大阪を中心として西日本でも大きく広がり仲間がつながり、今年8月16日（土）～17日（日）には、夏期セミナー第3回大阪大会を開催しました。

ムーブメント教育に興味をもたれている方、もっと勉強してみたいと思われる方、ぜひ参加してください。また、まだムーブメント教育を知らない方々も仲間でおられたらぜひお誘いください。

☆ 日 時 :平成20年 10月 11日(土) 14:00 ～ 16:00

☆ 会 場 :大阪教育大学 天王寺キャンパス 215講義室
(JR 環状線 寺田町駅下車 徒歩5分)

☆ 参加費 :500円 (当日 徴収いたします)



《第17回研究会の様子》

☆ 内 容 : ムーブメント教育・療法のアセスメント
～ MEPA-R 活用の実際 ～

☆ 申し込み先及び方法

:金川朋子 自宅 FAX 072-367-0713

:E-MAIL kogorou123@nifty.com

:下記の申込書にご記入の上FAX、もしくはメールでお申し込みください。

☆大阪ムーブメント教育研究会ホームページ <http://homepage2.nifty.com/osaka-movement/>

☆ その他

・動きやすい服装でご参加ください。

・問い合わせ等

金川朋子(大阪教育大学 附属特別支援学校)

学校TEL 06-6708-2580 学校 FAX 06-6708-2380

携帯 090-9984-1183 自宅 FAX 072-367-0713

☆ ムーブメント教育 研修会(10月11日) 参加申し込み

ご氏名(ふりがな)	所属名	連絡先

* 複数枚必要な場合は、おそれいりますが、コピーをしてお申し込みください。